

トヨペット カスタム スポーツのレストレーション

当館所蔵車両のレストレーション(修復)については、極力そのクルマの新車当時の姿(性能、構造、材質、外観など)に近づけるよう努めています。作業内容は元の状態(程度)に応じてクルマ毎に異なります。当館所蔵車両の修復作業の実施事例を3回にわたりご紹介します。

トヨペット カスタム スポーツ(1960)とは、初代トヨペット クラウンのシャシーに濱 素紀氏によるオリジナルデザインのプラスチック製ボディを載せて、5台だけ生産、販売された「まぼろしのカスタムカー」です。

沖野 嘉幸

レストア前(寄贈されたときの状態)



レストア完成後(全長4290mm 全幅1620mm 全高1255mm WB2530mm)



ボディ

FRP(ガラス繊維強化プラスチック)製ボディを鉄パイプのジグで補強した後シャシーから分離、経年劣化した樹脂部分を削り整形補修して、アズキ色に塗り替えられていた塗装を当時のオリジナルのホワイト色に塗り替えた。



シャシー

ボディとシャシーを分離し、サスペンション等の各種パーツも完全分解整備を実施。



トランスミッション

エンジン、クラッチ、トランスミッションとも完全分解整備を行い、クラッチディスクのライニングは製作、張り替え実施。



エンジン

エンジンは車両から降ろし、完全分解整備を実施、SUツインキャブレターは再メッキも行った。(水冷直列4気筒 OHV1453cc)



フロントガラス

フロントガラスはバリバリに砕けていたため、型枠を作りガラスを製作した。

